

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	青少年健全育成事業	会計	一般会計	事業No.	724	施策順No.	24-004
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-2-10-1		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	24 家庭教育の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	子ども及びその家庭						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		子育てをしている家庭数(戸) (0歳～18歳までの子どもがいる世帯)	10833	10655	10432	11000	10600	
		補助金支出先:伊勢市小学生交流事業実行委員会・地区青少年育成団体			1	1	1	
意図	多様な人との交流や様々な体験を通して子どもたちの健全な心を育む							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	基本的な生活習慣を習得している子どもの割合(%)	51.8	50.4	48.6	60	52.9	70	B
	参加者数(伊勢市交流・飯田子どもまつり)					664	650	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	基本的な生活習慣を取得する子どもの割合は増加傾向にあるが、目標を下回る結果となっている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>少子高齢化や核家族化等により地域の人と人のつながりが薄れる傾向にある中で、青少年を取り巻く環境も大きく変化している。このような中で、青少年の健全な育成のために、地域の子供は地域で育てる気持ちの醸成、地域資源を活用した青少年健全育成の取組みなど、家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む体制づくりを行う。</p> <p>また、伊勢市との交流を通して、友情と連帯の輪を深め、両市の親善に寄与する。対象は、次代を担う小学生とし、学校内外の生活や文化を学び地域社会のことについて情報交換や話し合いを行う。特に、飯田出身の「田中芳男」の伊勢市との歴史的なつながりを学習し、お互いの地域を再発見することで、郷土を愛し誇りに思う人材を育成する。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報紙の発行(地育力通信と合同) 2 地域プログラム活用事業補助金 3 小学生の伊勢市交流事業 飯田市開催 8月3日(火)～8月4日(水)ラフティング体験、集団宿泊交流 4 飯田子どもまつりの開催 4月29日(木)丸山小学校体育館(雨天) 5 飯田市安全大会の開催 12月12日(日) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 発行回数 2 (1)補助金交付団体数 (2)補助金額 3 交流会参加校数・児童数 (1)飯田市 (2)伊勢市 4 参加者数 5 参加者数 	<ol style="list-style-type: none"> 1 2回 2 (1) 5団体 (2)238千円 3 (1) 7校 28人 (2) 12校36人 4 600人以上 5 600人
23年度実施計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年問題協議会の開催(基本方針・関係機関意見交換等) 2 広報紙の発行(地育力通信と合同) 3 地域プログラム活用事業補助金 4 小学生の伊勢市交流事業 伊勢市訪問 5 飯田子どもまつりの開催 4月24日(日) 6 飯田市安全大会の開催 	<ol style="list-style-type: none"> 1 開催回数 2 発行回数 3 補助金額 4 交流会参加校数・児童数 (1)飯田市 (2)伊勢市 5 開催回数 6 開催回数 	<ol style="list-style-type: none"> 1 1回 2 2回 3 500千円 4 (1) 5校 24人 (2) 24校 96人 5 1回 6 1回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(そ)寄付金
		県支出金					
		起債		150			
		その他					
		一般財源	1,738	1,288	1,552		
		計(A)	1,738	1,438	1,552		
		正規職員所要時間		400			
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)		1,430			
		トータルコスト A+B		2,868			

4 事業に対する市民や議会の意見

青少年健全育成や教育の課題は毎回市議会での議員からの質問事項となっており、市民の関心は高い。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠、特殊要因)	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①基本的なしつけができる ②公共心・社会性が育つ	施策の成果指標又はムトス指標	基本的な生活習慣を修得している子どもの割合 地域活動・地域行事に親子で参加している割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	地域における大人たちとの世代間交流や様々な体験を通して、子どもたちが基本的な生活習慣や社会性などを学び、健全育成につながっている。		
	後期に向けた課題	青少年を取り巻く環境は変化してきており、そうした変化に対応しながら、地域社会全体で青少年の健全育成を図ることが重要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	子どもたちの体験活動や地域活動などの様子を多くの方に知ってもらうことで地域における青少年健全育成が推進されるように、地育力通信やホームページのブログで活動の様子を紹介した。		
	後期に向けた課題	子どもたちが自分の住んでいる地域の良さを知り、地育力を高めていくために、学校・地域・家庭・行政が連携した取り組みが必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	地域における世代間の交流事業を支援するもので、継続していくことで地域に定着させる時期であり、削減は難しい。		
	後期に向けた課題	同上。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	家庭・地域・学校・行政がともに解決すべき課題である。地域社会の担い手となる次世代の人材育成であり市の関与が必要である。		
	後期に向けた課題	同上。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①青少年と保護者、また地域の大人が主体である。体験活動などの世代間交流を行うことで、人との触れあいの大切さを学び、子どもたちの健全な心を育んでいる。 ②活動の様子を広報することで、地域活動への理解を深めてもらう。また青少年健全育成の地域活動を推進するため、新規で行う世代間交流の体験事業に対しては地域プログラム活用事業補助金を交付している。		
	後期に向けた課題	地育力通信やホームページ等を使い、子どもたちの体験活動の様子などを地域の方に紹介する。公民館活動や育成会活動における青少年健全育成活動が活発化するよう、地域プログラム活用事業補助金の利用を呼びかける。		
全体を通じて	4年間の振り返り	核家族化や少子高齢化、またメディアの普及などにより、外遊びや地域の大人と交流する機会が減ってきており、次代を担う子どもたちを地域で育てる取り組みが必要となっている。		
	後期に向けた課題	青少年を取り巻く環境変化に的確に対応できるよう、柔軟な対応が必要である。また、地域の大人との交流や体験活動等が活発に行われるよう、啓発していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------